



V4.1 バージョンアップ° リリースノート



最終更新日 : 2015 年 11 月 13 日

はじめに

リリースノートでは SkyVisualEditor の主要な新機能や既存機能の機能強化に関する概要情報を提供します。新機能、機能強化には既存環境に影響を与える可能性があります。影響があるアップデートについては、**重要な更新** のマークをつけていますので、ご利用中の画面への影響については十分にご検討いただけますようお願いいたします。尚、より詳細な情報については、リリース時に公開予定のヘルプサイトを参照ください。

ヘルプサイト： <https://doc.terrasky.com/display/SVE4JA/Home>

目次

1.	旧環境(前バージョン Studio)の提供	4
2.	SVE ファイルバージョン管理	5
3.	重要な更新 検索条件項目で主従・参照項目、複数選択リスト項目使用時の権限緩和	6
4.	「件名」に下線を追加	7
5.	一括デプロイダイアログに「ページ説明」項目を追加表示	7
6.	検索条件項目で連動項目設定のある選択リスト項目使用時の権限緩和	8

1. 旧環境(前バージョン Studio)の提供

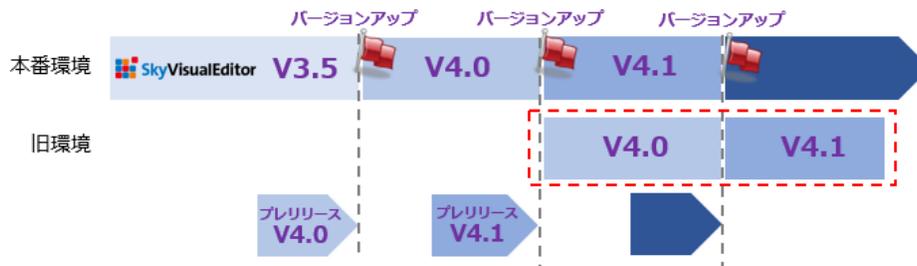
SkyVisualEditor は年に 2 回のメジャーバージョンアップを実施しています。そのバージョンアップの 1 か月前より新機能のお試し、検証を頂けるように、新バージョンのプレリリース環境を提供しています。しかしお客様によっては、開発スケジュールと SkyVisualEditor のバージョンアップのタイミングが合わない場合があり、バージョンアップの期日を延ばしてほしいというご要望がありました。

図 1-1 今までの Studio 環境提供状況



今回の機能追加で、バージョンアップ後も直前の Studio 環境を利用できるようになります。具体的には、図 1-2 のように、次のバージョンがリリースされるまでの期間は、前バージョン Studio 環境を新バージョン Studio と並行して利用することが可能です。これにより、お客様のタイミングで SkyVisualEditor のバージョンアップを実施しやすくなりました。

図 1-2 今後の Studio 環境提供状況



当機能を利用するにあたり、下記の点にご注意ください。

- ✓ 当機能はご契約者のみ利用可能です。利用方法についてはご契約時に利用申込書にご記入いただきましたサポートサービス連絡先窓口のユ-ザ様のメールアドレスへ別途ご案内いたします。
- ✓ 今回のプレリリース環境では当機能は提供されません。V4.1 リリース後に提供されます。
- ✓ 本番環境（新バージョン）で作成・編集したページは、旧環境で表示することはできません。

2. SVE ファイルバージョン管理

SkyVisualEditor(Studio 画面)サービス内で SVE ファイルのバージョン管理が可能になります。

今までは、SkyVisualEditor で作成したページのバージョン管理は、SkyVisualEditor から SVE ファイルをローカル端末に保存し、保存した SVE ファイルを、お客様が独自にバージョン管理を行う必要がありました。

今回の機能追加により、SkyVisualEditor サービス内で 1 ページに対して複数バージョンの保存や、過去のバージョンページの読み込みが可能になります。

図 2-1 SVE ページ情報とページバージョン情報のイメージ

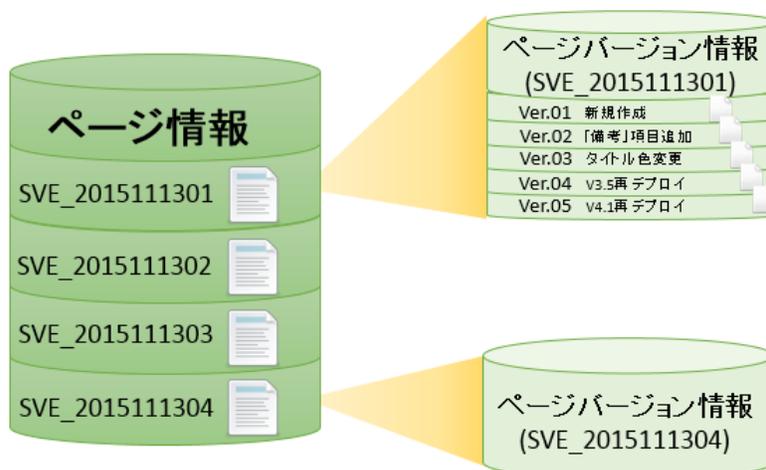
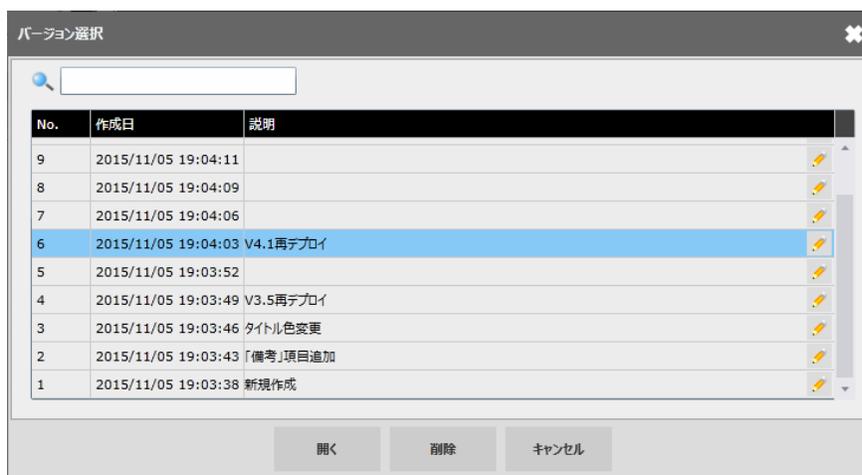


図 2-2 バージョン選択画面(Studio 画面)



3. **重要な更新** 検索条件項目で主従・参照項目、複数選択リスト項目使用時の権限緩和

SkyVisualEditor の検索画面の検索条件項目において、主従・参照項目、または複数選択リスト項目を使用時、作成権限がなくても参照権限のみで利用可能になります。

今までは、主従・参照項目と複数選択リスト項目を使用する際は、新規・作成権限が必要でした。今回の対応により、プロパティ値を変更することで参照権限のみで利用可能になります。利用する際には下記の設定を行う必要があります。詳細については、ヘルプサイトをご確認ください。

項目	主従・参照項目	複数選択リスト項目
設定方法	<p>「カスタムルックアップ画面選択」への画面設定、「権限緩和」プロパティのチェックを有りに。</p> 	<p>「表示選択肢」プロパティの選択肢を”全て”に。</p> 

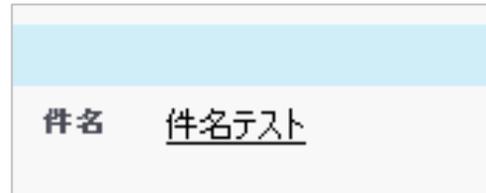
尚、この機能の有効化（設定）により、下記の影響が発生する可能性がありますのでご注意ください。

※ 「Apex クラス拡張」機能で記述した Apex クラスコード変更

主従・参照項目の「権限緩和」プロパティ、複数選択リスト項目の「表示選択肢」プロパティの設定値を変更すると出力する Apex クラスが変更となり、該当項目を「Apex クラス拡張」機能で利用している場合は Apex クラスの修正が必要となります。尚、SkyVisualEditor の標準機能のみをご利用のユーザー様は今回の変更による影響はございません。

4. 「件名」に下線を追加

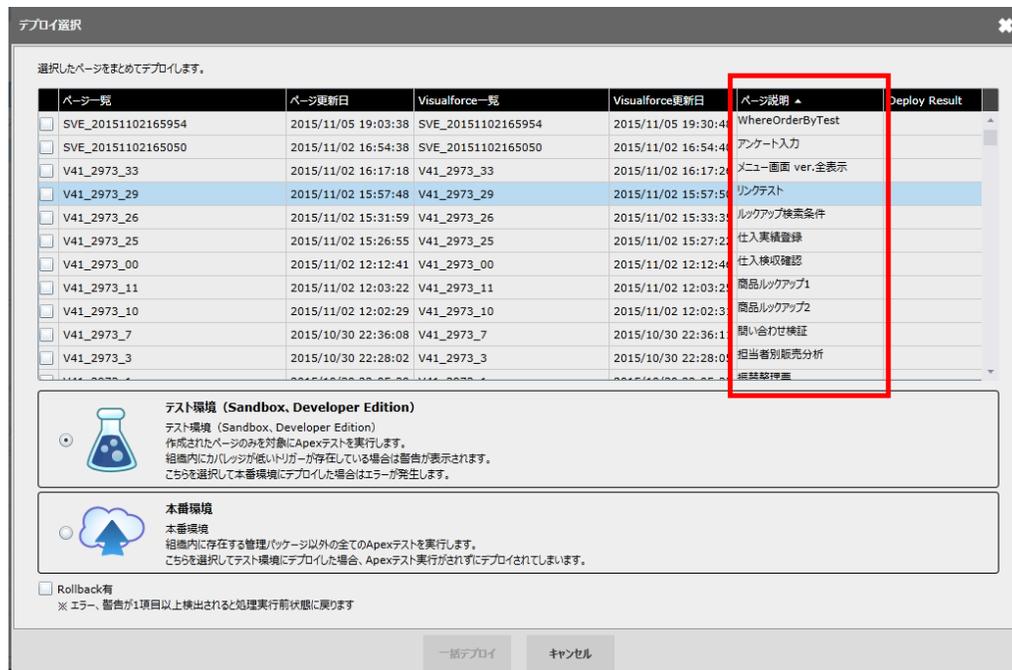
行動オブジェクトの「件名」項目は、「リンクとして表示」した時に“下線”が表示されませんでした。当機能追加で「下線」プロパティを追加しました。



5. 一括デプロイダイアログに「ページ説明」項目を追加表示

複数ページを一括デプロイする際に、各ページの説明を見たいとのご要望があり、一括デプロイダイアログ画面にも Visualforce ページの「説明」を表示する項目を追加しました。

図 5-1 一括デプロイダイアログ画面



6. 検索条件項目で連動項目設定のある選択リスト項目使用時の権限緩和

SkyVisualEditor V4.0 のバージョンアップで、連動項目が設定されている選択リスト項目を使用時にデプロイする場合は、制御項目、連動項目の両項目が画面に配置することを必須条件としました。

しかし、SkyVisualEditor で制御項目、連動項目のプロパティ「表示選択肢」を “全て” で選択している場合は制御項目、連動項目のいずれかの項目のみの配置でもデプロイ可能であることが確認できたため、上記条件の場合はいずれかの項目のみの配置でも Studio 画面からデプロイできるように権限緩和しました。

SkyVisualEditor V4.1 バージョンアップ リリースノート

株式会社テラスカイ

URL : <http://www.terrasky.co.jp>

E-Mail : support@terrasky.co.jp
